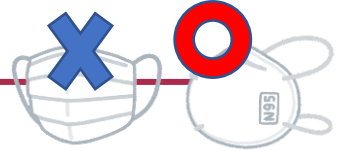




COVID-19の水際対策解除・輸入感染症の再燃に注意

輸入感染症

- ◆ 輸入感染症は海外で感染して日本に持ち込まれる感染症のことです
- ◆ 以前、日本で流行したが衛生状態の改善で無くなったとされるデング熱や麻疹なども現在は輸入感染症として扱われます
- ◆ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の5類移行に伴い海外との行き来が増え輸入感染症の再燃が心配されています
- ◆ 中でも空気感染する麻疹ウイルスには注意が必要です

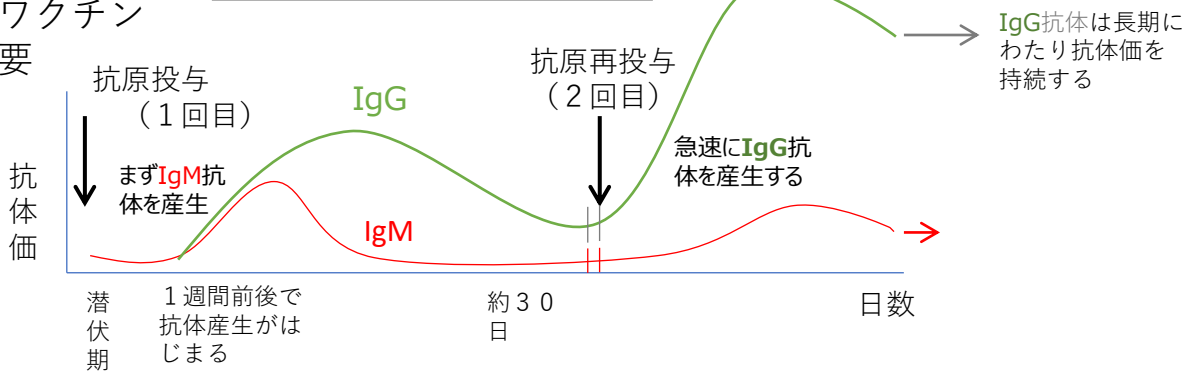


空気感染は防げない

- ◆ 麻疹の感染力はインフルエンザの比でない
- ◆ 広い空間でも、空調が共通していると周囲の人間を感染させる
- ◆ カーテンのパーテーションでは意味をなさない
- ◆ 最近では、感染者と同じ新幹線に乗り合わせた乗客が感染したという報告がある
- ◆ コロナウイルスやインフルエンザウイルスでは不織布マスクである程度は感染は防げるが麻疹はN95マスクを着用が必要

麻疹感染防止にはワクチンが重要

ワクチンは1回ではもったいない



- ◆ 「1回目の抗原刺激では抗体は産生されるがわずかな量、時期を置いて同じ抗原刺激を受けると以前の抗原を記憶しているため、短期間でたくさんの量の抗体（主にIgG）を産生する」という体の免疫応答を応用しワクチンを2回以上接種することが推奨されている（1回だけでは産生される抗体量が少なくもったいない）
- ◆ 感染してもインフルエンザにはタミフルといった麻疹ウイルスには特効薬がないため抗体を持っているのが一番の防御策となる
- ◆ 特に医療従事者は、自分の抗体価を調べ、抗体力価が感染防御に足りない場合はワクチンを接種しましょう（次頁参照）

麻疹は健常人が死ぬ病気・合併症に注意

- ◆ 麻疹は自然治癒が、一般的だが「合併症」の頻度が高い
- ◆ 合併症を起こす頻度は約30%。
- ◆ 合併症には肺炎、咽頭炎、中耳炎、胃腸炎、中でも肺炎は麻疹の小児の死因として高頻度、また脳炎は成人の死亡原因として高頻度であり、回復しても中枢神経系後遺症を起こすことがある

検査・ペア血清で確認

- ◆ 麻疹に一度感染した、またワクチンを接種したが抗体価が下がってきて感染した人はIgG抗体が最初から高くなるため、「麻疹の抗体があるから」と感染を除外せずにペア血清で確認する



医療従事者は十分な抗体を

| | 抗体獲得率 | ワクチン接種の基準 | 投与について |
|------------------|--------------|---|--|
| B型肝炎 | 70～90% | 血液・体液を扱う医療従事者。(針刺し事故の感染率 30～60%) HBs抗原・HBs抗体ともに陰性の場合 | 4週間隔で2回接種後、5か月後に3回目の接種。接種終了後1～2か月後に抗体陽性の確認 |
| インフルエンザ | 発症防止効果70～90% | アレルギーなどなければ、原則接種 | 毎年1回 |
| 麻疹 (はしか) | 95%以上 | | 可能であれば学生の間に接種。 (患者さんと接する前) |
| 風疹 (三日はしか) | 95%以上 | 罹患したことがあるか確認。 抗体検査を行い抗体が「陰性」もしくは「陰性でない」場合 (下記参照) | 接種回数は1回より2回の方が抗体陰性者は少ない |
| 流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ) | 90%以上 | | 複数回 (種類、回数) ワクチン接種時は、接種の間隔が必要なため早めの対応が必要 |
| 水痘 (みずぼうそう) | 95%前後 | | |

医療関係者のためのワクチンガイドライン第3版、日本環境感染学会、2020による感染症抗体価と必要予防接種回数 (予防接種の記録がない場合)

| 疾患名 | 検査方法 | あと2回の予防接種が必要 | あと1回の予防接種が必要 | 今すぐの予防接種は不要 |
|------------------|----------|---|---------------|-------------|
| | | (-) | (±) ~ (+) | (+) |
| 麻疹 (はしか) | EIA法-IgG | 2.0未満 | 2.0～15.9 | 16.0以上 |
| | PA法 | 16倍未満 | 16、32、64、128倍 | 256倍以上 |
| | NT法 | 4倍未満 | 4倍 | 8倍以上 |
| 風疹 (三日はしか) | HI法 | 8倍未満 | 8、16倍 | 32倍以上 |
| | EIA法-IgG | 2.0未満 | 2.0～7.9 | 8.0以上 |
| 流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ) | EIA法-IgG | 2.0未満 | 2.0～3.9 | 4.0以上 |
| 水痘 (みずぼうそう) | EIA法-IgG | 2.0未満 | 2.0～3.9 | 4.0以上 |
| B型肝炎 HBs抗体定量 | CLIA法など | 10.0満 (mIU/mL) 以上 一度陽性になると力価が低下しても追加免疫はしない (CDC*) | | |

CDC*アメリカ疾病予防管理センター

血液検査で抗体を調べまてみませんか

* 料金は担当営業まで



全血
1本

